



平成 30 年度 Vol.2

防災対策 情報便

発行日	平成 30 年 5 月 31 日
発行元	災 害 対 策 課
所属長	課 長 福 田 大 樹
電 話	06 - 6489 - 6165

1 出水期への備えをお願いします。

出水期とは、集中豪雨や台風等で、川が増水しやすい時期をいい、一般的に 6 月～10 月頃が出水期にあたります。

大雨や台風などは、テレビなどの気象情報により、ある程度、事前に予測することが可能です。

皆様も、少しでも被害を軽減し、自分や家族の安全を守るよう、日頃から心がけてください。

特に、次のことに注意して早目の対応をしていただきますようお願いいたします。

1) 家屋等について

道路面より低い家屋の場合、道路冠水等により、浸水するおそれがあります。

特に、地下に居室、駐車場、機械室などがある場合は、短時間に雨水が流れ込むおそれがあることから、そのような場所については、事前にご確認いただきますようお願いいたします。

2) アンダーパス等の道路冠水について

道路が冠水している場合の通行には十分にご注意ください。

また、アンダーパス(交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路)が冠水している場合の通行は、水没するおそれもあることから、十分にご注意いただくとともに、危険回避のため、不用意に通行せず、迂回するようにしてください。

3) 側溝等の清掃について

自宅周辺の側溝等がゴミなどで詰まっていると、雨水の排水能力が悪くなり、側溝から水が溢れだすおそれがあります。

日頃から、側溝等の清掃にご協力いただいておりますが、再度、側溝のつまりやごみの有無についてご注意くださいいただきますようお願いいたします。

清掃に必要な器具は、市役所道路維持担当にて貸し出しを行っています。

これらの項目の詳細や、家庭でできる止水方法等については、市ホームページ「市民の皆様へ：出水期にあたっての留意事項」をご覧ください。

検索方法は

2 水防工法訓練を実施しました。

梅雨の出水期を前に、水害に迅速かつ的確に対応できるよう職員一人ひとりが水防工法技術を習得するため、公益社団法人全国防災協会から水防専門家の講師を2名派遣していただき、平成30年5月22日(火)、23日(水)の両日9時30分から12時まで、消防部職員40名、都市整備部職員23名、公営企業部職員17名参加のもと、武庫川左岸河川敷緑地にて訓練を実施しました。

訓練では、土のう作りを行った後、「土のう積み工法(越水防止)」、「月の輪工法(漏水防止)」、「杭打積土俵工法(堤防のり崩壊対策)」の3種類の工法を習得しました。



土のう積み工法



土のう積み工法



月の輪工法



杭打積土俵工法

3 海岸、河川管理施設の点検、操作方法の確認を実施しました。

平成30年5月28日(月)、市内の海岸、河川管理施設の点検、操作方法の確認を実施しました。

尼崎市は、市域の約3分の1が海面(平均満潮位)より低い「海拔ゼロメートル地帯」であり、また、市域の3方向が水域で囲まれていることから、洪水や高潮、津波の被害を受けやすい地形になっています。

そのため、台風、高潮等により潮位が高くなることが予測される場合は、事前に海岸、河川管理施設を閉鎖することにより、浸水被害を防いでいます。

災害時に迅速に対応できるよう、毎年、兵庫県や警察、市など、関係機関が合同で、陸閘(りっこう)、樋門(ひもん)、フラップゲートと呼ばれる施設の点検や操作方法の確認を行っています。



フラップゲート確認作業



樋門閉鎖作業



陸閘閉鎖作業



陸閘閉鎖作業

4 水防班長会議を開催しました。

平成30年5月9日(水)本市の水防時における迅速かつ的確な初動態勢確保のため、水防班長会議を開催しました。

会議では、今年度の水防態勢の編成、降雨観測システムの有効利用、今年度実施予定の防災総合訓練、水防工法訓練、防潮鉄扉点検操作訓練等について、事務局から説明を行い、情報の共有と共通認識をもって対処することを確認しました。



5 今年度も気仙沼市へ職員を派遣しています。

平成30年度派遣状況（H30.5.31現在）

建設部都市計画課土地区画整理室：2名（土木職）

建設部下水道課：1名（土木職）

派遣期間・・・平成30年4月1日～平成31年3月31日

以上